

## 令和3年度第1回敦賀市総合教育会議 議事録

1. 日 時 令和3年4月9日（金） 13時30分～14時30分

2. 場 所 市役所4階 401会議室

3. 出席者

	市 長	渕 上 隆 信		
	教 育 長	上 野 弘	教育長職務代理者	神 谷 敬一郎
	委 員	岸 本 松 則	委 員	中 宮 智 子
	委 員	堺 啓 輔		
事 務 局	事 務 局 長	山 本 寛 治		
	教育総務課長	多 賀 隆	学校教育課長	鈴 木 成 吉
	生涯学習課長	河 端 慎	文化振興課長	道 端 康 延
	スポーツ振興課長	倉 谷 健	秘書広報課長	吉 田 聡
	教育総務課長補佐	小 保 麻 貴	教育総務課総務係長	杉 村 祐 介
	教育総務課職員	森 川 友		

4. 内 容

1 開会

2 市長あいさつ

本日は、お忙しい中、御出席をいただき、誠にありがとうございます。

先日は、敦賀北、赤崎及び咸新小学校の閉校式並びに角鹿小中学校の落成式に御臨席いただきありがとうございました。新校舎は子どもたちが学習に励めるよう様々な工夫がされており、本当に素晴らしい学校ができたと改めて感じたところでございます。

また、昨日は開校式や入学式が挙行され、子どもたちが初めて新しい校舎に入りました。

子どもたちとともに、校旗の授与など新しい門出に立ち会えたこと大変感慨深く思いますし、保護者や地元の皆さんの思いにしっかり応えられるよう思いを新たにしたいところでございます。

教育委員の皆様におかれましても、何卒変わらぬ御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

さて、本日は、平成28年度に策定した「敦賀市教育大綱」並びに「敦賀市教育振興基本計画」の期間満了に伴い、令和3年度から7年度までの5ヵ年における第2期計画の策定について最終協議をお願いしたいと思います。

最後までどうぞよろしくお願ひいたします。

3 協議事項

(1) 第2期「敦賀市教育大綱」及び「敦賀市教育振興基本計画」の策定について

各課長より説明

市 長…ただ今の説明に対してご意見ご質問をいただきたいと思ひます。教育目標や目次について何かありませんか。

異議なし

市長…次に基本方針（１）学校教育の充実についてはいかがですか。

異議なし

市長…次に基本方針（２）社会教育の充実と活性化についてはいかがですか。

異議なし

市長…次に基本方針（３）文化の振興・支援についてはいかがですか。

異議なし

市長…次に基本方針（４）スポーツの振興及び推進についてはいかがですか。

異議なし

市長…ではそのほかで何かありましたらお願いします。

岸本委員…今までのやり方だと、アンケート調査の結果を見て、こういうところが落ちているから補強していきましょうという対策が取られていますが、５年間こういう方針でしていくのならもっと敦賀市の教育振興基本方針があってもいいのかなと思います。基本理念にある「敦賀を愛し、郷土の発展に貢献する活力ある人材を育成する」という敦賀独自の方針がありますね。学校教育は文科省や県の方針が出てきますし、学習指導要領もありますのでそれに準じてしていくので、その中身についてはそんなに大きく変わりませんが、ふるさと教育については敦賀の特徴を出していけますね。大きな基本としては地元の人材を育成するために郷土を愛して郷土に誇りを持つふるさと学習を、もう少し柱として学校教育の中にあってもいいのかなと思います。もう一点は、ユニバーサルデザインです。学校教育のユニバーサルデザインがあるといいと思います。授業がよくわかるだけではなく、特別支援教育についてもユニバーサルデザインは必要ですね。ユニバーサルデザイン化で学校教育を進めていくと、いじめや不登校も同じような視点で取り組んでいけるので、大きな柱として敦賀の教育にユニバーサルデザインを取り入れたら、あるいは地元の人材を育成するためにふるさと学習を推進していくというようではないでしょうか。地元愛や地元貢献する人材を育成していくというような柱があると、敦賀独自の個性がでてくるのでいいのかなと思います。次期計画の時に検討してください。

学校教育課長…学校独自のふるさと学習もあると思いますので、学校ならではの学習を進めていけるようにしていきたいと思います。ユニバーサルデザイン化についても、５年後を意識しながら今後進めていきたいと思います。

岸本委員…ふるさと学習をしようと思うと、市各課が連携し、地域の自然や文化、歴史や産業や人材などすべて絡めてふるさと学習をしていかないと、学校だけでしていても大変だと思います。各課で分担していい資料を作っていく。そういう風にしていかないと、学校任せだと敦賀全体を見ることは非常に難しいと思いますので、５年間で試行錯誤しながら、次回の立案の時に検討していただきたいと思います。

市長…実際にしていることをご紹介させていただくと、敦賀ものづくり産業懇話会で永

大産業さんが木くずを集めて板を作る作業を実演していただいたり、東洋紡さんは新幹線の座席に使用しているブレスエアという素材を小さく切って、家庭科でクッションを作ったりしています。基本計画の中には紹介されていませんが、学校教育の中でしておりますので、そういった仕掛けもしていきたいと思っております。

一つ確認ですが、西福寺はいつごろからするのですか。

文化振興課主幹…夏までに、専門機関に概算設計をしていただいています。それに基づき、来年度の国庫補助申請をして、工事に入るのは令和4年度秋以降の予定です。

市長…あとスポーツ施設のご紹介ですが、野球場のスコアボードとちびっこゲレンデについて紹介をお願いします。

スポーツ振興課長…3月末にちびっこゲレンデがリニューアルしました。4月初めの日曜日には300人を超える方がいらっしゃいました。また野球場のスコアボードの改修も行います。秋の大会には間に合う予定です。現在のスコアボードは自然発光しないタイプのもので、今リニューアルを考えているものはLEDの光で発光するタイプのスコアボードになります。現在使用できないので、工業高校の生徒が作成した仮のスコアボードを使用します。

神谷委員…どのレベルの大会までできるのですか。

スポーツ振興課長…プロ野球はできません。福井ワイルドドラプターズの試合は可能です。

## (2) その他

市長…他に何かありましたらお願いいたします。

神谷委員…振興計画は配るのですか。

教育総務課長…市のホームページに公表いたします。学校等に配ることも可能です。

神谷委員…今回はホームページに公表しただけだったのですか。

教育総務課係長…今回はホームページの公表と、100部ほど印刷し関係機関や視察の時に配布しました。

教育長…今回も前回と同じように考えております。また、県外の指導主事会等や、17市町の教育長に配布することは可能です。

堺委員…この基本計画は抽象的なものなので、この後具体的にどういうことをしていくかはこれからの課題になってくると思います。タブレットを全員に配ったと思うのですが、今後どのように活用していくのか、これからが大事だと思います。操作に慣れさせるとか、板書が手元にうつるとか、静止画が動画になったただ意味がないと思いますので、積極的に使えるようなことを考えていかないとはいけません。文科省は、個別対応が可能になるといっていますが、個別に対応できるというメリットはありますが、わかる子だけがどんどんわかっていって、わからない子はいつまでもわからなくて、みんなが学ぶ意味がなくなってしまう。みんなが学ぶことを大事にしつづけるとタブレットを持っている意味がなく

なってきますね。どのように使っていくかが非常に難しいと思うのですが、予算をかけて入れたので活用できたらと思います。これはまだ文科省や学習指導要領で具体的な使い方はおりにきていないのですね。

学校教育課長…活用事例は出ています。

堺 委 員…こうしないといけないという枠組みはまだでていないですね。それぞれの現場で工夫して勝手にできるのですか。できるのなら、敦賀市らしい特色を出せる場だと思うので、こういったことも一つの特色の出し方かなと思います。

市 長…学校で使用することが基本ですが、持って帰ってもいいとなったときに家にWi-Fiがないところも出てきます。学校に来られない子は有効ですが、学校に行かなくてもいいという家族がいたときに、それを登校として認めるのかなど、学校の在り方はどうなのかということになってくるので、この5年間でいろいろ変わってくると思います。卒業したあとタブレットはどうするのか、電子教科書になると家にもって帰らないといけない、学校にタブレットがあるので貴重品がたくさんあるなど、いろいろ変わってくると思います。

教 育 長…一つの事例をご紹介しますと、今年度から小学校の教科書が変わりまして、英語の教科書はほぼ変わり、QRコードがのってそれをタブレットでかざすと音声が出るようになりました。個々人でヘッドホンで聞いてネイティブな声を聞きながら自分で発音をするということが可能になります。まずはそういったところから使っていって、次に全体でどういうふうな学習をしようかということ、英語の先生を中心に授業のカリキュラムを考えているところです。

岸本委員…Wi-Fiの件ですが、例えば支援を受けているような家庭には、市から費用を負担するなどは考えているのですか。

市 長…どこまでするかですね。全員してほしいということになるかもしれませんが、通信費も持ってほしいということになるかもしれません。そういったときに、実は親御さんも使っていたということもあり得るので、どこまで支援していくかが難しいですね。

岸本委員…個別にタブレットがあるので、いろいろな形でフル活用できるといいと思います。今は在宅で、オンラインで仕事をしているので、子どものうちにそういったことを経験しておく社会に出てからもオンラインなどわかっていいと思います。それが格差等で、できる家庭とできない家庭があるというのは子どもには責任がないので、何とかならないのかなと思います。

市 長…今はスポットWi-Fiというのがありますが、一時的にはいいのですが、将来的に使うとなると、公共Wi-Fiとかそういった整備になってくるかだと思います。

それでは、これをもちまして令和3年度第1回総合教育会議を閉会させていただきます。活発なご議論ありがとうございました。